

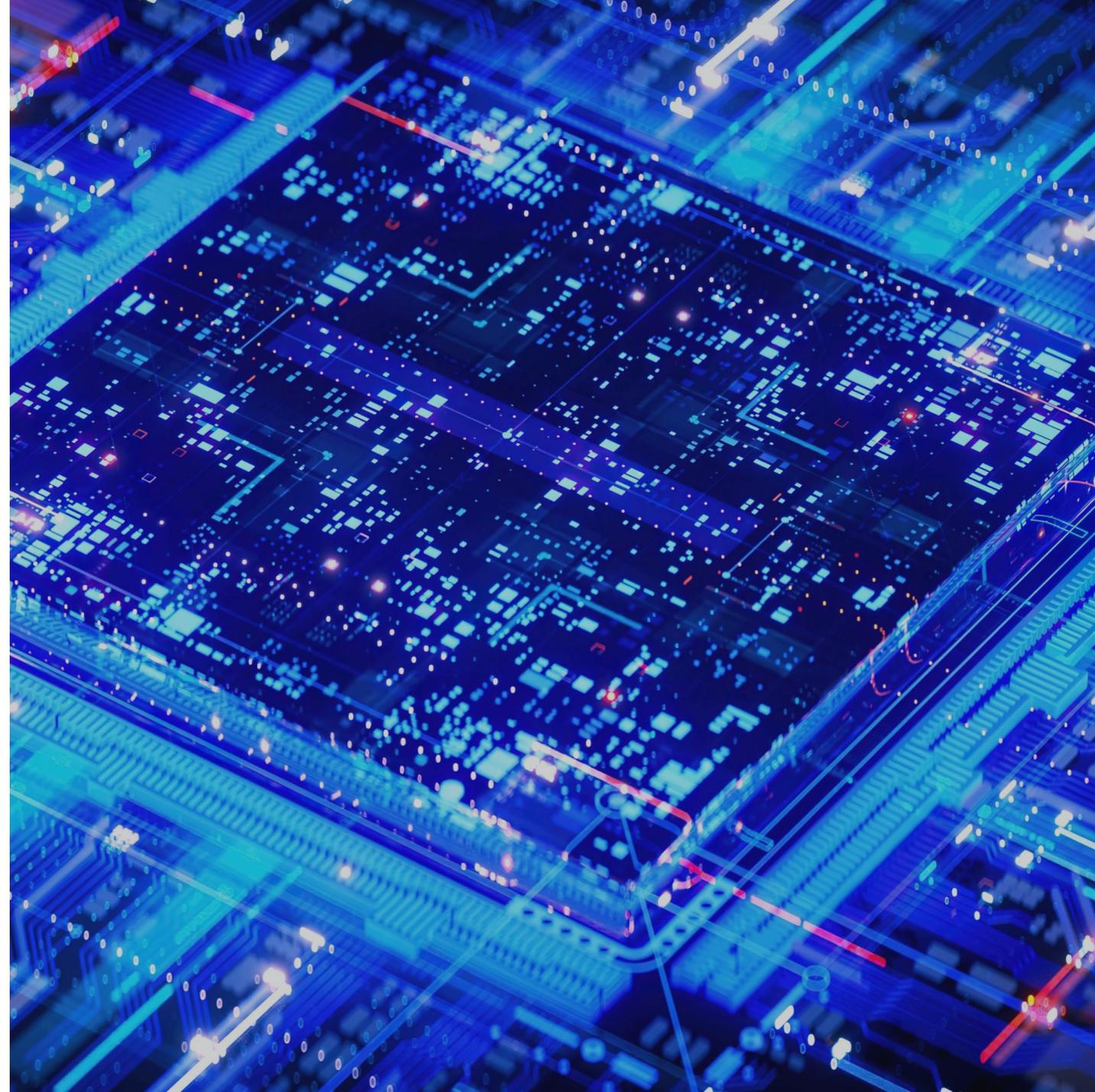
ULVAC

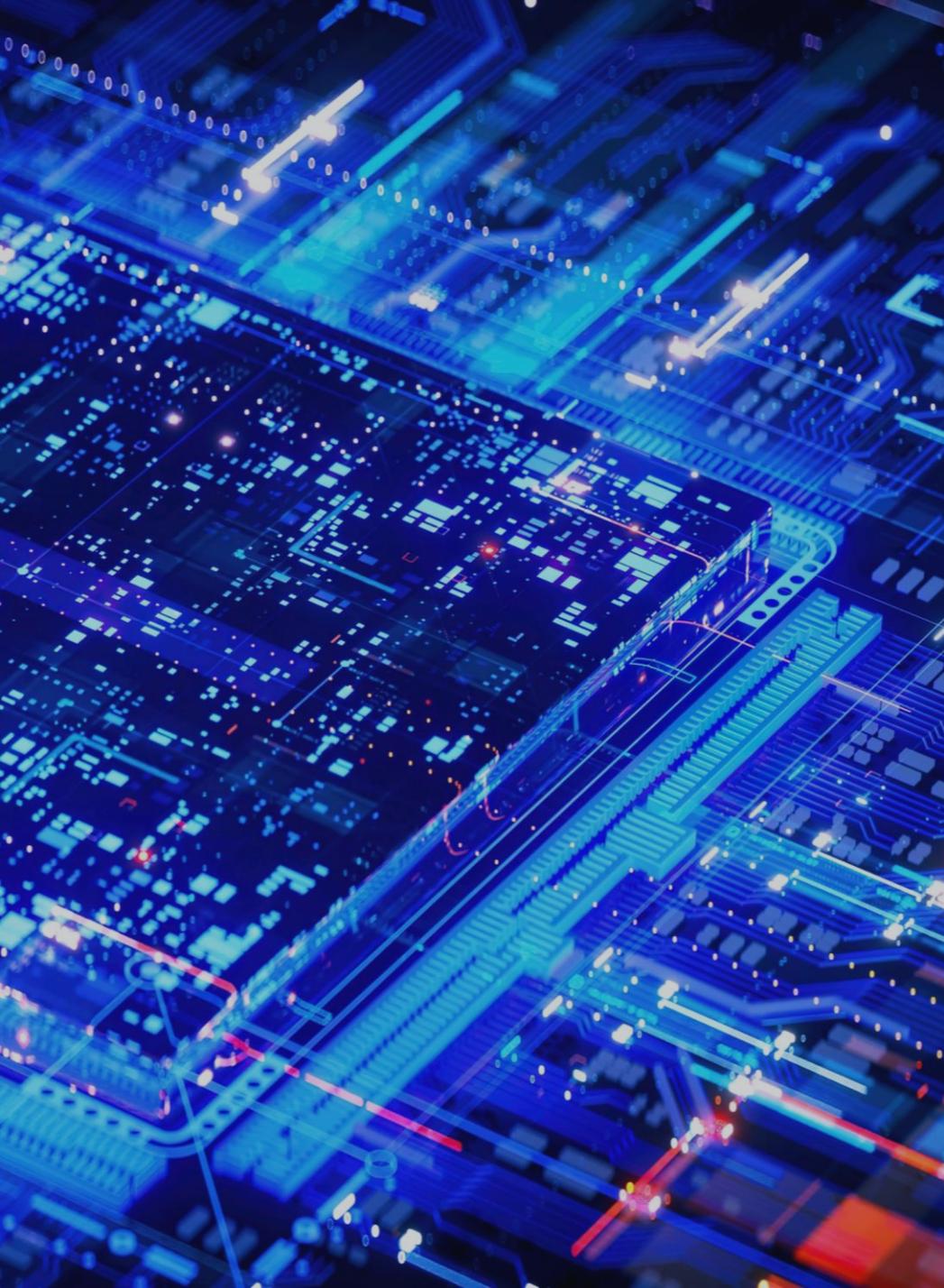
株式会社 アルバック

**2024年6月期 第1四半期
決算説明資料**

2023年7月～2023年9月

2023年11月7日





将来見通しに関する記述についての注意事項

本資料に記載の業績見通しならびに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき作成されたものです。

世界経済情勢、半導体・電子部品・FPD・原材料などの市況、設備投資の動向、急速な技術革新への対応、為替レートの変動など様々な要因により、実際の業績・成果等はこれらの見通し・将来予測と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

1. 受注高：バッテリー関連活発化、パワーデバイス増加等により、前年同期比大幅増加（+17%）

- 半導体：メモリ・先端ロジック投資抑制で1Qは低下。下期からの投資回復を見込む
- 電子：パワーデバイスSiC投資が活発化
- FPD：EVバッテリーの小型大容量化、安全性向上に向けた量産投資が本格化

2. 売上高：前年同期並みだが、受注残高は1,600億円を超え、2Q以降の売上増加を見込む

営業利益：前年度の高利益率案件の剥落等により、前年同期を下回る
2Q以降は売上増加等により利益率改善を見込む

	<u>前年同期</u>	<u>1Q実績</u>	<u>前年同期比</u>
□受注高	666億円	780億円	+114億円（+17%）
□売上高	562億円	550億円	▲11億円（▲2%）
□営業利益	51億円	28億円	▲23億円（▲45%）

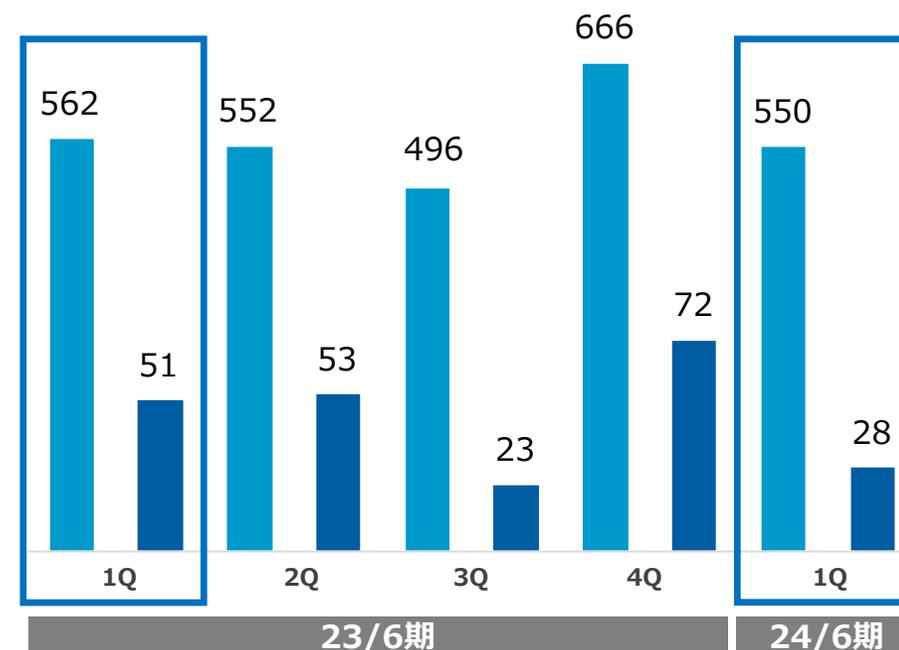
- 受注高：バッテリー関連投資活発化、パワーデバイス投資増加等により、前年同期比大幅増加
- 売上高：前年同期並みだが、受注残高は1,600億円を超え、2Q以降の売上増加を見込む
- 営業利益：前年度の高利益率案件の剥落等により、前年同期を下回る
- 受注高は社内計画を大きく上回り、売上高・営業利益はほぼ社内計画通り

【単位：億円】	23/6期 1Q	24/6期 1Q		
	実績	実績	前年同期比	
受注高	666	780	+114	+17%
売上高	562	550	-11	-2%
売上総利益	165	153	-12	-7%
率	29.3%	27.7%	-1.6pt	-
販管費	113	124	+11	+10%
営業利益	51	28	-23	-45%
率	9.1%	5.1%	-4.0pt	-
経常利益	52	29	-23	-44%
率	9.3%	5.3%	-4.0pt	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	41	11	-29	-72%
率	7.2%	2.1%	-5.2pt	-

売上高と営業利益の推移

【単位：億円】

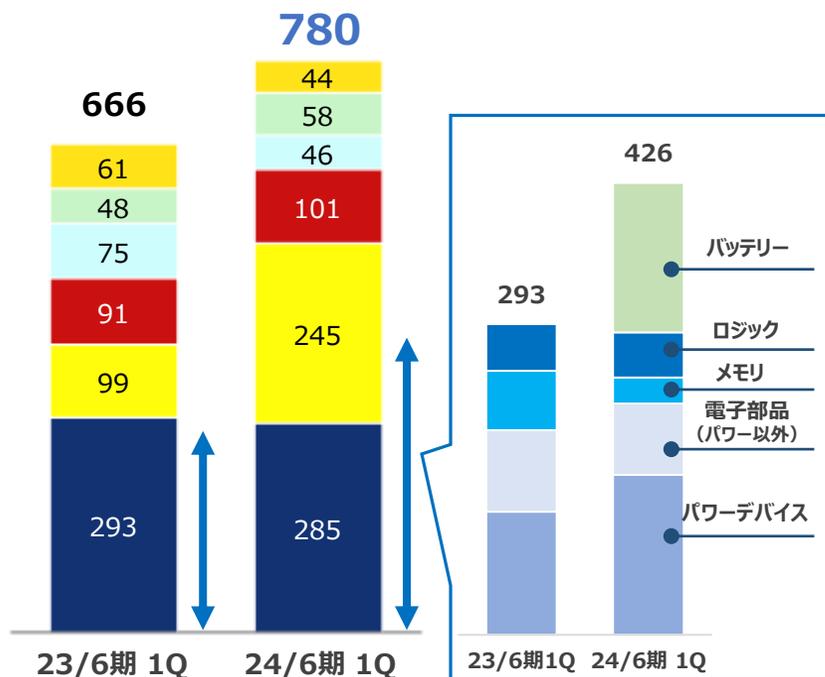
■ 売上高 ■ 営業利益



- 受注高は、バッテリー投資の活発化、パワーデバイス投資増加等により、前年同期比大幅増加
- 売上高は、前年同期並みだが、受注残高は1,600億円を超え、2Q以降の増加を見込む

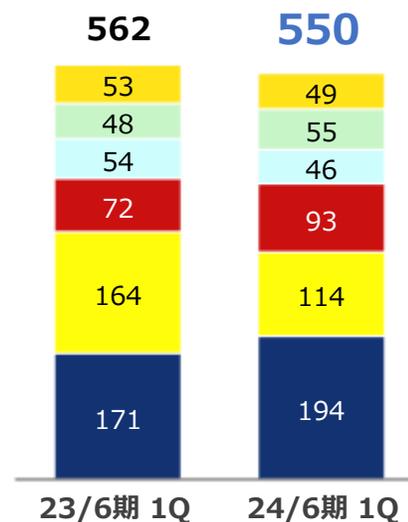
受注高 【単位：億円】

■ 半導体及び電子部品製造装置 ■ コンポーネント ■ 材料
■ FPD製造装置 ■ 一般産業用装置 ■ その他



売上高 【単位：億円】

■ 半導体及び電子部品製造装置 ■ コンポーネント ■ 材料
■ FPD製造装置 ■ 一般産業用装置 ■ その他



半導体・電子

半導体

メモリ・先端ロジック投資抑制で1Qは低下
下期からの投資回復を見込む

電子部品

パワーデバイス：SiC投資が活発化
(1Q集中、年間計画に変更なし)

各種電子デバイス：技術革新・増産投資継続

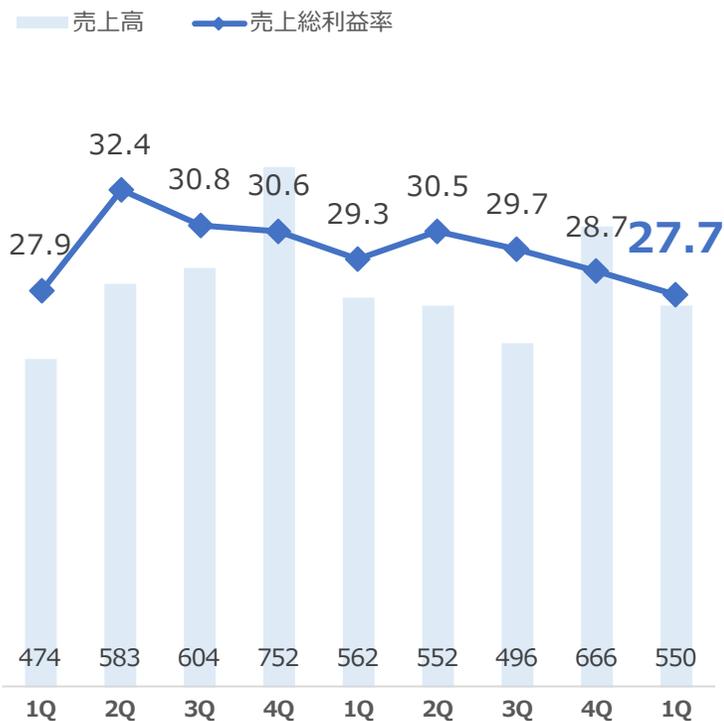
FPD

EVバッテリーの小型大容量化、安全性向上に向けた
量産投資が本格化（1Q集中、年間計画を上回る
可能性）

- 売上総利益率は売上高の前4Q比減少等により低下
- 営業利益も売上総利益率低下、販管費増加等により低下
- 2Q以降は売上増加等により利益率改善を見込む

売上総利益率

【単位：億円、%】



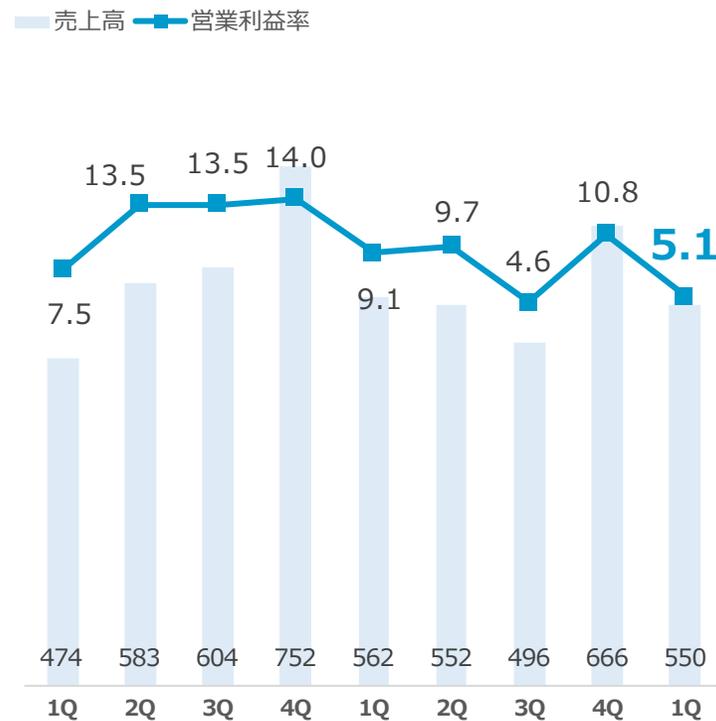
22/6期

23/6期

24/6期

営業利益率

【単位：億円、%】



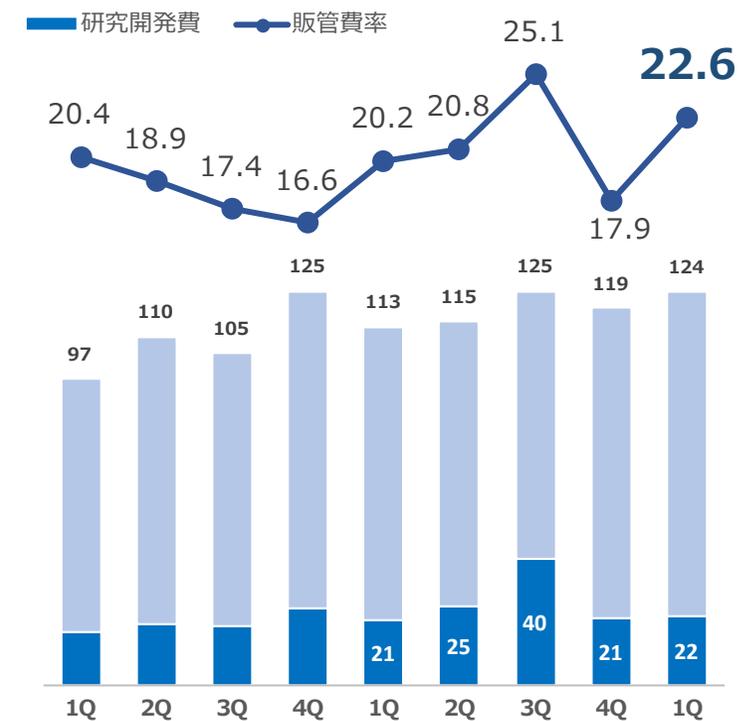
22/6期

23/6期

24/6期

販管費(率)推移

【単位：億円、%】



22/6期

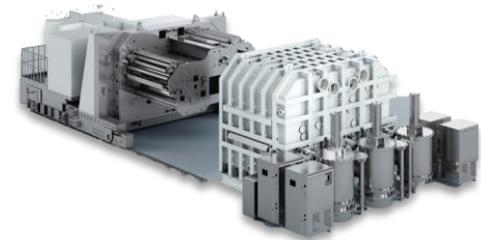
23/6期

24/6期

品目	市場環境・成長ドライバー
半導体	<p>メモリ：投資抑制継続。HBM関連投資が寄与 DRAM投資は下期からの回復を見込む</p> <p>ロジック：先端ロジック投資は下期からの回復を見込む</p>
電子	<p>パワーデバイス：日本・中国の6インチSiC投資が1Qに集中 8インチSiC投資は来期度以降本格投資を見込む</p> <p>各種電子デバイス：技術革新・増産投資が継続</p>
FPD	<p>EVバッテリー：正極集電体のAl両面蒸着膜への置き換え投資本格化（1Q集中）</p> <p>ディスプレイ：低消費電力化・高精細化等のための工程変更等の受注継続</p> <p>ITパネル用OLED投資は来期以降本格化を見込む</p>
コンポーネント マテリアル カスタマーサポート	安定基盤ビジネスとして堅調に推移



SiCパワーデバイス用
イオン注入装置



EVバッテリー用
両面蒸着巻取装置

- EVバッテリーの小型大容量化・安全性向上実現のため、従来の金属箔から両面蒸着膜への置き換え投資本格化
- 両面一括・1回成膜による高い生産性で差別化

EVバッテリーの課題

- ①小型大容量化・軽量化
- ②安全性向上
- ③コスト低減（部材）
- ④製造時CO₂削減
- ⑤生産性向上

正極集電体（CCC）

アルミ箔 → 両面蒸着膜（アルミ/PET/アルミ）
⇒小型大容量化・軽量化・安全性向上実現

PET
4~6 μm

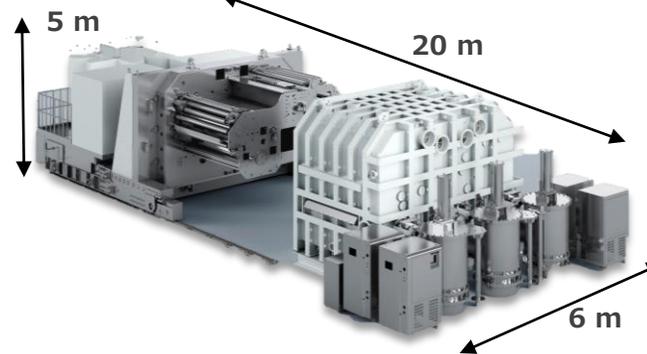
(AL/PET/AL)

AL ~1 μm

アルバックの強み

- ①熱ダメージ抑制による高速長尺成膜
- ②両面一括・1回成膜で高い生産性
- ③フィルム広幅化による生産性向上・別材料展開

両面蒸着巻取装置



- > 車載用フィルムキャパシタ向け蒸着巻取装置：薄フィルムへの高速片面成膜でシェア9割以上
- > EVバッテリー用蒸着巻取装置：両面一括・1回成膜（競合他社：複数回成膜要）
- > フィルムへの除熱技術等により高品質両面蒸着膜を実現
- > 今後、①フィルム広幅化モデル開発 = 量産性向上（25/6期～）、②別材料で他のバッテリーレイヤー展開 等で先行しシェア確保

アルミ箔:10~12μm

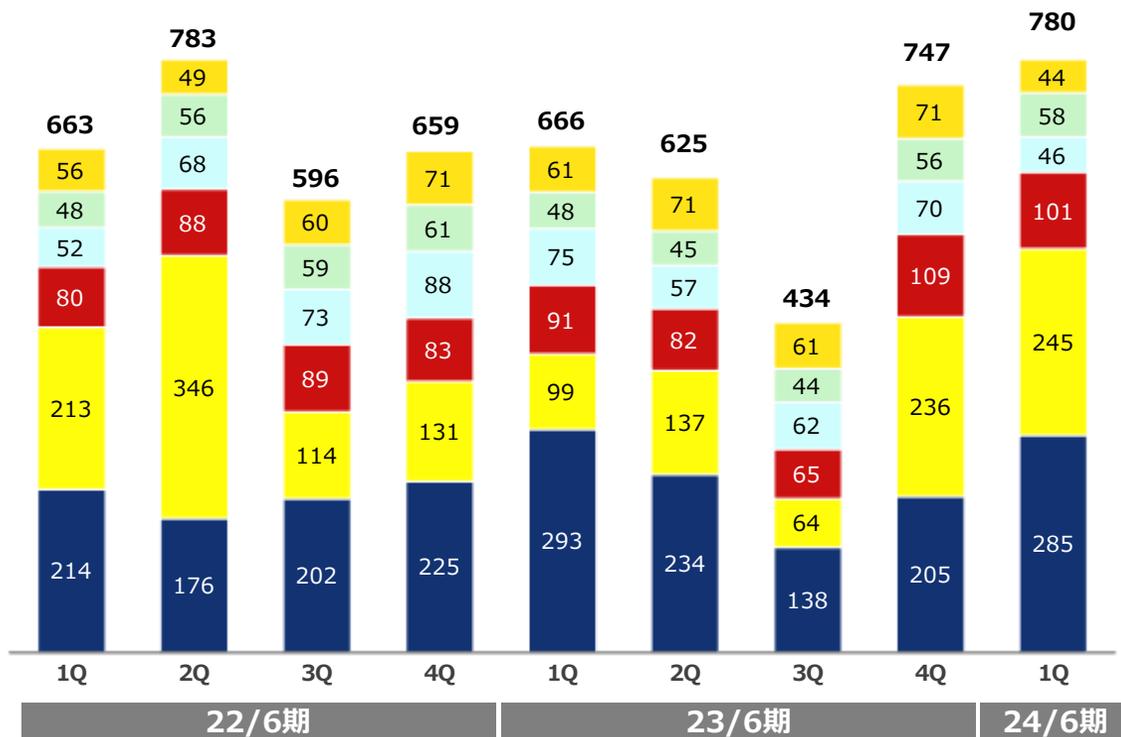
アルミの両面蒸着：両面で2μm（5分の1）

バッテリー製造時のCO₂：アルミ集電体が
25%程度⇒アルミ使用量が5分の1となれば、
20%程度のCO₂削減につながる

【単位：億円】	2023/6期				2024/6期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	前年同期比	
						増減額	増減率
受注高	666	625	434	747	780	+114	+17%
売上高	562	552	496	666	550	-11	-2%
売上総利益	165	168	147	191	153	-12	-7%
率	29.3%	30.5%	29.7%	28.7%	27.7%	-1.6pt	-
販管費	113	115	125	119	124	+11	+10%
営業利益	51	53	23	72	28	-23	-45%
率	9.1%	9.7%	4.6%	10.8%	5.1%	-4.0pt	-
経常利益	52	65	39	72	29	-23	-44%
率	9.3%	11.8%	7.8%	10.8%	5.3%	-4.0pt	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	41	53	24	24	11	-29	-72%
率	7.2%	9.6%	4.9%	3.6%	2.1%	-5.2pt	-

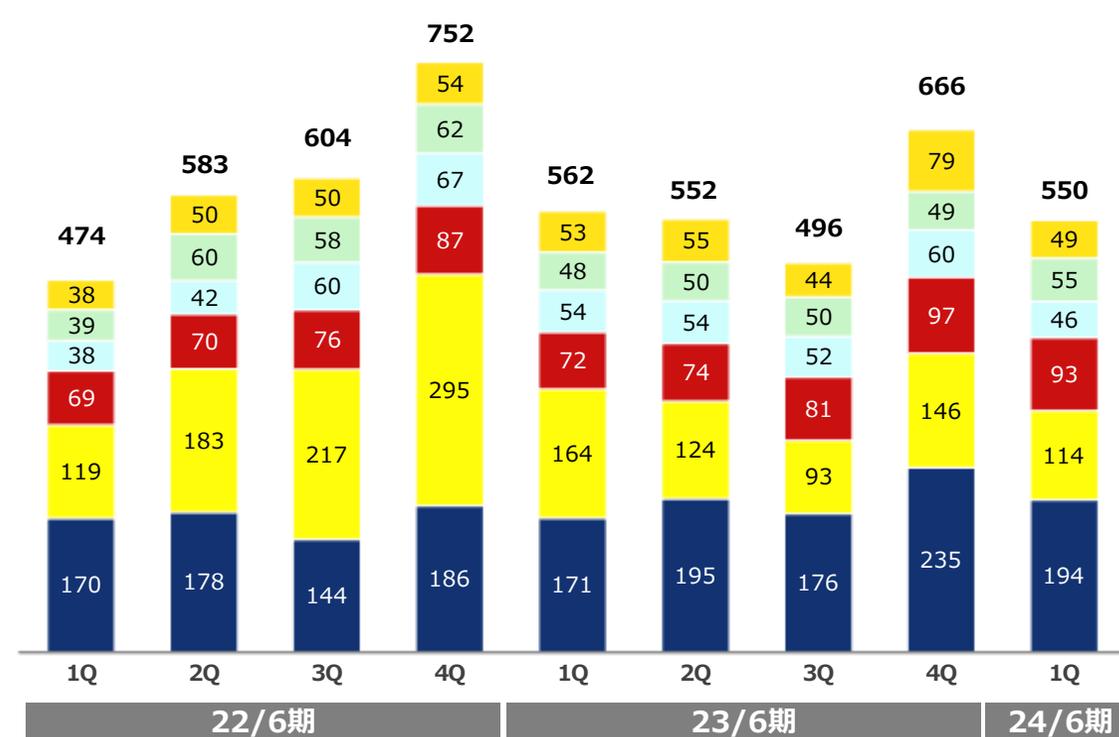
受注高 【単位：億円】

- 半導体及び電子部品製造装置
- コンポーネント
- 材料
- FPD製造装置
- 一般産業用装置
- その他



売上高 【単位：億円】

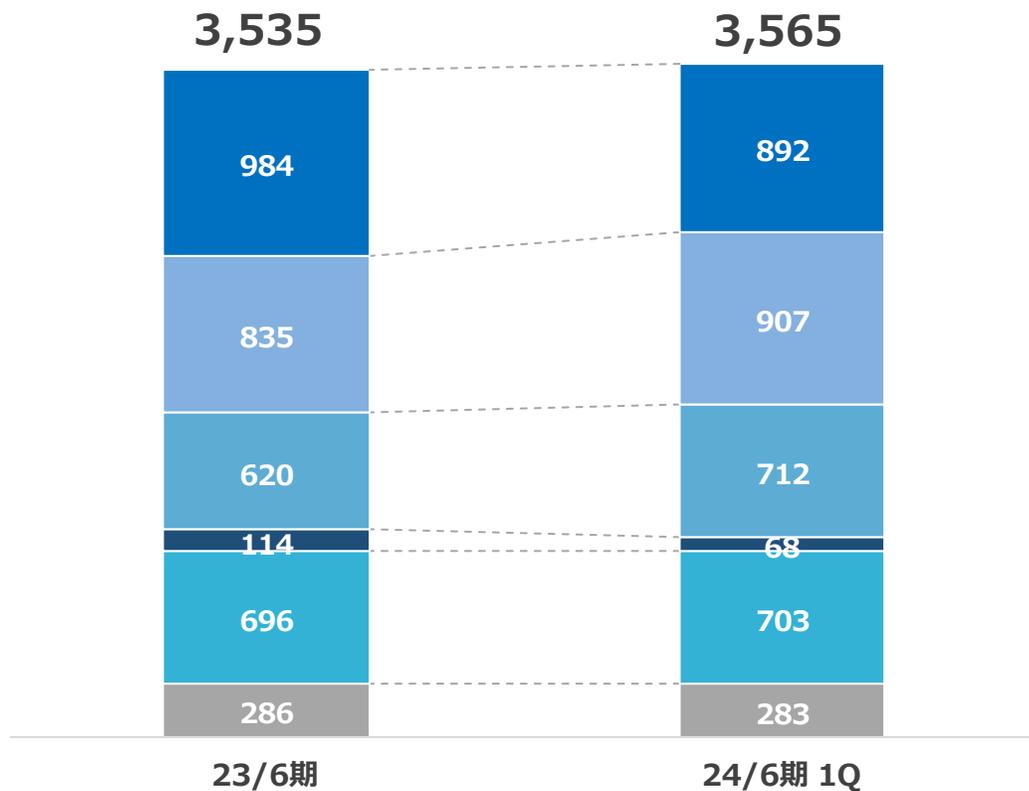
- 半導体及び電子部品製造装置
- コンポーネント
- 材料
- FPD製造装置
- 一般産業用装置
- その他



資産

【単位：億円】

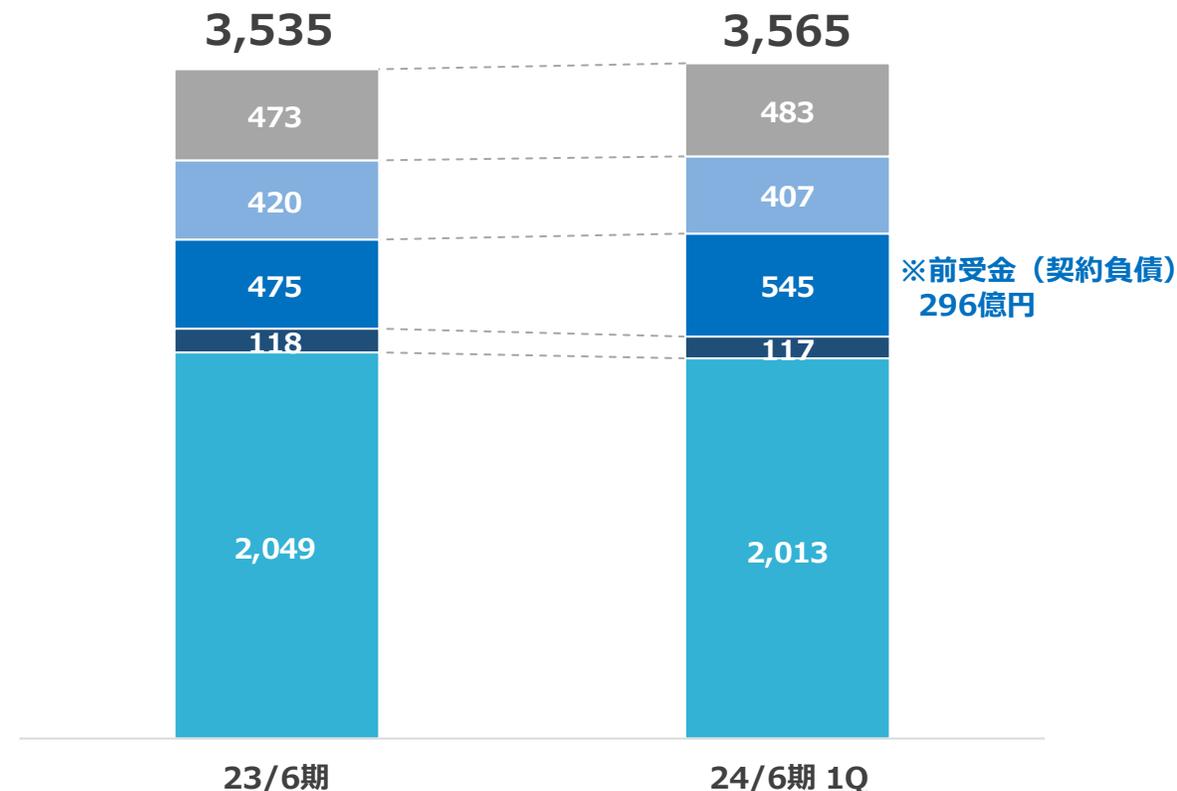
- 現金・預金
- 受取手形・売掛金
- 棚卸資産
- その他の流動資産
- 有形固定資産
- 投資有価証券 他



負債・純資産

【単位：億円】

- 支払手形・買掛金
- 有利子負債
- その他流動負債
- その他固定負債
- 純資産





社会的課題解決

スマート社会・
デジタル社会実現グリーンエネルギー化
低消費電力化

メモリ

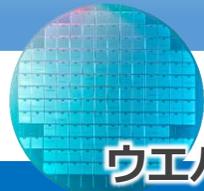
ロジック IC

センサー・電子部品

パワーデバイス

バッテリー

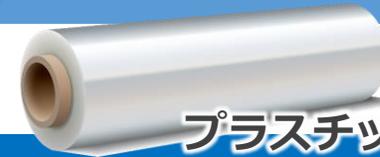
微細化 / 高性能化 / 低消費電力化



ウエハー



ガラス



プラスチック

真空薄膜形成技術

スパッタリング

蒸着

CVD

エッチング・アッシング

イオン注入

コンポーネント

マテリアル

カスタマーサポート

さまざまな業界・用途で貢献する アルバックの真空技術



ULVAC